

教科名	社 会 (地理的分野) (歴史的分野)	週時間数	3	学 年	1
使用教科書 及び 副教材 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校社会地理的分野 (帝国書院)・ 中学校社会科地図 (帝国書院) ・ アクティブ地理総合 (浜島書店) ・ よくわかる社会の学習 地理1 (明治図書) ・ 中学校社会歴史的分野 (日本文教出版) ・ よくわかる社会の学習 歴史1 (明治図書)・ つながる歴史 (浜島書店) 				
指導の重点	「思考力」 「主体的な学習」 「知識・技能」				
教科のねらい	社会科では、多面的・多角的な見方や考え方ができる学習の場として、生徒の、「思考力」と「学ぶ意欲」を育むことを目指して学習をしていきます。また、基礎的な知識を身につけるとともに、自国の文化や伝統を学ぶとともに他国の文化や伝統を尊重し、国際人としての自覚を身につけることを目指していきます。				
授業の進め方	授業は教科書とワークを中心に進めていきます。学習する内容によっては、班別で学習することもあります。また、調べ学習として図書室や家庭での学習を求めることもあります。				
定期考査	授業で学習したことを中心に問題を出題しますが、観点別に問題を出題します。教科書の内容を覚えるだけではなく、資料を読み取る力、思考力、表現力も必要となります。				
学習方法	社会は覚えることが多くて苦手という人もいますが、誰でも一度に多くのことを覚えるのは難しいことです。何度も繰り返し学習することが大切になります。それと、「なぜそうなるのか」という疑問をもって学習することも大切にして下さい。問題集やワークを繰り返して学習することにより、基本的な知識を身につけることも大切です。				

	観 点	評価規準	評価方法
評 価	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化などを通して、地理的な事象に関わる知識を身につけ、世界の地理的事象をとらえるために、地球儀や世界地図などの資料を的確に読み取ったり効果的に活用したりしている。 ・ 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色を理解するとともに、基本的な知識を理解している。 ・ 様々な資料を集め、有用な情報を読み取り、図や表などにまとめている。 	定期テスト (知識・技能分野) 小テスト (知識分野)
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の地域構成を概観し、諸資料に基づいて、多面的・多角的に考察し、自分の解釈を加えて解説したり、意見交換をしたりしている。 ・ 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色について考え、適切に表現している。 	定期テスト (思考・判断分野) 授業観察 (発言内容) 振り返りシート (内容・考察)
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の舞台としての地球や世界各地の人々の生活や環境に関心を持ち、世界の諸地域の多様性や地域的特色を意欲的に学ぼうとしている。 ・ 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色に関心を持ち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。 	授業観察 宿題・堤出物 ノート (自主性)

年間授業計画

学期	分野	単元
1	地理的分野	第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 第2節 ヨーロッパ州 第3節 アフリカ州 第4節 北アメリカ州
2	地理的分野	第5節 南アメリカ州 第6節 オセアニア州 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色
	歴史的分野	第1編 私たちと歴史 第2編 古代までの日本と歴史 1 人類の始まりと文明 2 日本列島の人々と国家の形成 3 古代国家の形成
3	歴史的分野	第3編 中世の日本と世界 1 古代から中世へ 2 鎌倉幕府の成立 3 室町幕府と下剋上 第4編 近世の日本と世界 1 中世から近世へ